



組 織 部 報

http://jreut.jp

2017年10月12日

第017号

JR東労組東京地方本部



3年間方針を何も決められず、組合員不在の国労運動!

旬刊 ACCESS 第520号によると国労は、7月27日・28日の日程で第86回定期全国大会を千葉県で開催し、これまでの全国大会ではあたりまえの光景だった紛糾や混乱はみられることなく粛々と行われたようだ。

国労は2014年の大会で代議員の過半数を主流派が慣例を破り副議長を独占し「補強方針」を強引に通したのが混乱の始まりで、翌年の大会では反主流派・非主流派が代議員の過半数を押さえ書記長選挙に対抗馬を立て、現執行部が役職を投げ出す異例の事態となった。

今大会では、この2年間主導権を握ってきた反主流派・非主流派の動向が注目されたが3年続けての大会紛糾に対してOB、友誼団体などからの批判の声もあり混乱は収められたようだ。しかし、国労執行部の内部対立には変わりはなく、組合員不在の国労運動により、組合員からも見放された組織となっている。

組織拡大行動資金を徴収し国労組織の存亡!?

第86回定期全国大会で菊地委員長はあいさつで「東日本本部は『組織拡大』の取り組みが、組織の存亡をかけた取り組みであるとの認識で組織的な取り組みに全力をあげていく」と述べ、書記長は「組織拡大行動資金を徴収することを決定し国労組織の存亡をかけて全ての取り組みを組織拡大へ。」と答弁している。しかし、組織の大半を占めている国鉄採用者があと6年で完全に退職する中で、組織のジリ貧は目に見えている。そのような中で将来展望を示せるわけがない。そして、無責任に組織拡大を訴えることが、組合員に責任を持つ労働組合のする事と言えるのだろうか。組合員の5年後、10年後の将来を本当に考えた時に、どのように声をかけるのだろうか。

「組織対策交付金申請書」「各種打合せ・会議等内訳書」なるものに、『所属労働組合』『参加者氏名』『オルグ内容』を記入すると飲み代+報奨金が支給されると噂されているようだが……。



申請日 年 月 日

〇〇労働組合新橋支部
執行委員長殿

機関名 _____ ㊟

代表者名 _____ ㊟

各種打合せ・会議等内訳書



| | | | | | | |
|------------------|------------------------------------|-----|-----|-----|-----|-----|
| 名 称 | 年月日 | 年 | 月 | 日 | 時より | 時まで |
| (打合せ・会議等の具体的な内容) | 出席者の内訳 (〇〇労働組合以外の場合は団体名、会社名を記入する事) | | | | | |
| | 所 属 | 氏 名 | 所 属 | 氏 名 | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| 出席・招集責任者及び承認印 | | | | | | |
| 招集責任者 | 出席責任者 | | | | | |
| | | | | | 計 | |

〇〇労働組合

組織対策交付金 申請書

下記内容で開催しますので組織対策交付金の交付申請をいたします。

| | | |
|------|-----------|-----------|
| 日 時 | 年 月 日 ~ 日 | オルグ対象者の氏名 |
| 場 所 | | |
| 内 容 | | |
| 参加人員 | 名 | |

本 部 審 査 欄

将来展望すら示せない労働組合に未来はない!